

スタートカリキュラム「みんな なかよし いちねんせい」

1 スタートカリキュラム

スタートカリキュラムとは、小学校に入学した児童が、幼稚園・保育所等（以下、幼児教育施設と称す）での遊びを中心とした学びを基盤として、主体的に自己を発揮し、新しい学校生活を創り出していくために作成された1年生入学当初における特別なカリキュラムのことである。

2 スタートカリキュラムの編成の意義

前回の小学校学習指導要領（平成20年告示）では、スタートカリキュラムの目標を「学校生活への適応が図られるよう」にすることと、「小1プロブレムの未然防止」としていた。しかし、現行の小学校学習指導要領（平成29年告示）では、「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を踏まえた指導を工夫することにより、幼稚園教育要領等に基づく幼児期の教育を通して育まれた資質・能力を踏まえて教育活動を実施し、主体的に自己を発揮しながら学びに向かうことが可能となるようにすること」と、「資質・能力の育成」を目標として定めた。すなわち、学習する子どもの視点に立ったスタートカリキュラムの編成が一層求められていると考える。

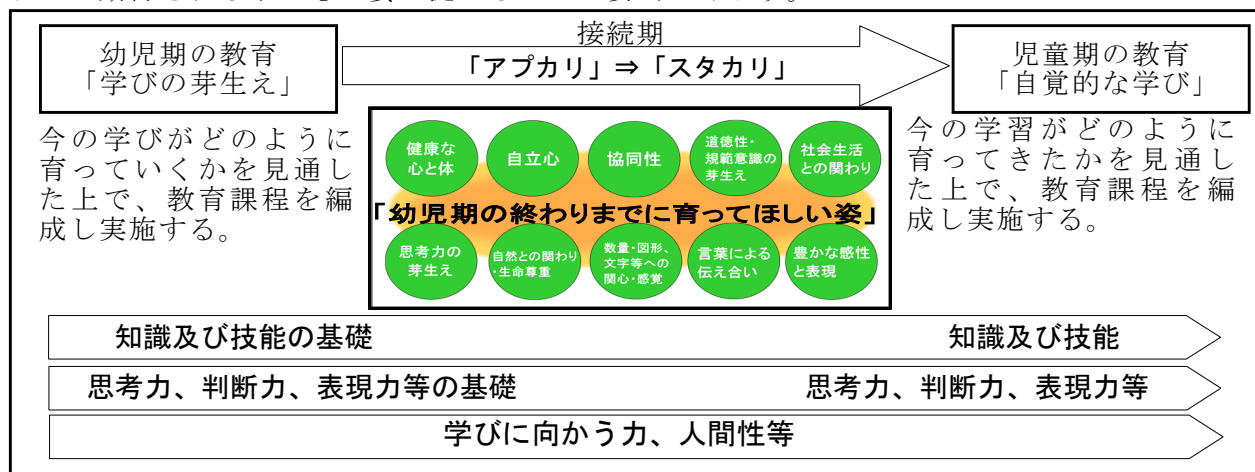
3 「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」とは

「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」（以下、10の姿と称す）とは、次の10項目とその内容（内容については割愛）を指す。

(イ) 健康な心と体	(ロ) 自立心	(ハ) 協同性	(ニ) 道徳性・規範意識の芽生え
(ホ) 社会生活との関わり	(ヘ) 思考力の芽生え	(ト) 自然との関わり・生命尊重	
(チ) 数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚	(リ) 言葉による伝え合い		
(ヌ) 豊かな感性と表現			

これら10項目については、幼児教育施設における遊びを中心とした学びの中で育ってきていると考える。したがって、スタート期においては、アプローチカリキュラムの内容や成果を確認し、幼児期と児童期のつながりを意識しながら、その成果が発揮できるようにスタートカリキュラムを編成したり、実施したりすることが求められる。ゼロからのスタートではないということである。

なお、今次学習指導要領で示された「育成を目指す資質・能力の3つの柱」と「10の姿」との関係については、研究者の間でいろいろな議論がなされているところであるが、「10の姿」とは、3つの柱としての「知識及び技能」「思考力、判断力、表現力等」「学びに向かう力、人間性等」が、幼稚園段階から高等学校段階にかけて継続的に育成されていく中で、接続期において期待される子どもの姿と捉えることが妥当であろう。



4 指導の工夫とは

「小学校学習指導要領」第1章総則第2の4学校段階等間の接続において、「低学年における教育全体において、例えば生活科において育成する自立し生活を豊かにしていくための資質・能力が、他教科等の学習においても生かされるようにするなど、教科等間の関連を積極的に図り、幼児期の教育及び中学年以降の教育との円滑な接続が図られるように工夫すること。」(略)生活科を中心に、合科的・関連的な指導や弾力的な時間割の設定など、指導の工夫や指導計画の作成を行うこと」とあり、生活科を中心とした合科的・関連的な指導の重要性が改めて示された。スタートカリキュラムにおける指導の工夫とは、自分との関わりを通して総合的に学ぶという、この時期の児童の発達の特性を踏まえ、生活科を中心とした合科的・関連的な指導のことを指している。

- ・合科的な指導…各教科等のねらいをより効果的に実現するための指導方法の一つで、単元または1コマの時間の中で、複数の教科の目標や内容を組み合わせて、学習活動を展開するもの。
- ・関連的な指導…教科等別に指導するに当たって、各教科等の指導内容の関連を検討し、指導の時期や指導の方法などについて相互の関連を考慮して指導するもの。

5 スタートカリキュラム「みんな なかよし いちねんせい」の編成方針

知多地方教育計画案におけるスタートカリキュラムを「みんな なかよし いちねんせい」と名付け、前述した3、4を基に、生活科を中心とした合科的・関連的な編成とした。また、「小学校学習指導要領」、「小学校学習指導要領解説生活編」、「スタートカリキュラムスタートブック」（文部科学省、国立教育政策研究所、教育課程研究センター編 平成27年）、「発達や学びをつなぐスタートカリキュラム」（同上 平成30年）を参照し、以下のような方針で、スタートカリキュラム「みんな なかよし いちねんせい」の編成に当たった。

(1) 一覧表と本文の使い方

スタート期は1学期まで続くものの、小学校入学直後の20日間を学校全体でスタートカリキュラムに取り組む期間として設定した。（学校スタカリ）

一覧表…学年だけでなく、全教職員に配付し、指導方針を共有したり、協力を求めたりする場合に有効な計画表のモデルである。保護者に対しては、入学説明会や学年懇談会等でも使用できる。学校の実態に合わせて、調整されたい。

本文…一覧表に従って実施する際のモデルである。指導方法だけではなく、指導の意義にも触れているので、参照されたい。また、学年や学級の実態に合わせて、調整されたい。

なお、学級担任は一覧表や本文を参照しつつ、週案を活用して、自らの個性をも発揮しながら授業展開をされたい。（学級スタカリ）

授業時間数は69時間とし、次のように振り分けている。

第1週…各日3時間×5日	第2週…各日3時間×5日
第3週…3時間×1日、4時間×4日	第4週…4時間×5日

(2) 各教科等のねらい

合科的・関連的な編成・実施とするものの、スタート期における各教科等のねらいと実施時間については、次のように定めている。

生活	……学校の施設の様子及び、学校を支えている人々や友達のことが分かり、楽しく安心して遊びや生活をすることができる。
国語	……学校生活の言葉や適切な声量を知り、本や文字、言葉に親しむことができる。
書写	……文字に興味をもったり、適切な姿勢・鉛筆の持ち方・筆圧で、線や文字を書いたりすることができる。
算数	……体験的な活動を通して数の感覚を豊かにして、物の個数を数えたり唱えたりすることができる。
音楽	……拍や速度、強弱、曲の気分を感じ取りながら、楽しく音楽表現することができる。
体育	……固定施設で遊んだり、簡単なゲームで遊んだりして、体を動かすことの楽しさを感じることができる。
図画工作	……クレヨンを用いて、自分の好きなものや伝えたいことを表現することを通して、表現することの楽しさを味わうことができる。
道徳科	……進んで気持ちのよい挨拶をしたり、きまりを守ったりしようとする。
学級活動	……学級の友達と仲良くして、学校生活に慣れ、学校生活を楽しもうとする。

生活	国語	書写	算数	音楽	体育	図工	道徳	特別活動			合計
								学活	児童会活動	学校行事	
15	14	2	6	6	5	4	3	8	1	5	69

また、ここでは合科的・関連的な編成としているため、各教科・領域の時間数の計上は、4週間実施後まとめて行うことができる（パッケージ方式）。「みんな なかよし いちねんせい」の全てを実施した場合、上段の時間数を計上することができる。なお、一覧表には学校裁量の時間を6時間位置付けているが、学校の実態に合わせて実施されたい。

(3) 大単元に中・小単元の位置付け

スタート期における各教科等のねらいが達成できるように、「みんな なかよし いちねんせい」を大単元として捉え、3つの中単元とそれぞれの小単元を次のように設定した。

【大単元】 みんな なかよし いちねんせい 69時間 《目標》 ①安心して学校生活をスタートし、自分らしさを出すことができる。 ②他者と関わりながら、楽しく学校生活を送ることができる。 ③幼児期の学びを生かして、意欲的に活動や学習に取り組むことができる。		
【中単元】 27時間 はじめまして、よろしくね 《目標》 ・学校生活のことが分かり、自分らしさを出すことができる。	【中単元】 27時間 がっこう だいすき 《目標》 ・学びに対する期待感をもって、学習に意欲的に取り組むことができる。	【中単元】 15時間 がっこうたんけんはじめよう 《目標》 ・学校生活は多くの人が関わっていることに気づき、安心して学校生活を送ることができる。

【小単元】 ・にゅうがくしきにさんかしよう ・しぎようしきにさんかしよう ・じぶんでできることをふやそう ・とうげこうのしかたをおぼえよう ・ともだちとうたうごいてはなしてあそぼう ・すてきなものをみつけよう ・ほけんしつにいつてしんたいそくていをしよう ・ともだちいっばいにこにこひょうをつくろう ・いちねんせいをむかえるかいにさんかしよう ・そうじのしかたをおぼえよう	【小単元】 ・がっこうでのごしかたをしろう ・かぞえてみよう ・たいいくかんへいつてうんどうしよう ・えんぴつをもってかいてみよう ・みつけたはるでつくってみよう ・おいしいきゅうしょく ・にこにこだいさくせんをしよう ・ひなんくんれんのしかたをしろう ・かずとすうじ ・うたにあわせていつてみよう ・からだをほぐしてばらんすをとろう	【小単元】 ・どきどきわくわくがっこうをあるこう ・いろいろなことをみつけよう ・みつけたことをおはなししよう ・もつとくわしくしりたいな ・みんなのはっけんをききあおう
---	---	---

このように、活動しながら考えたり、考えながら活動したりして、その中から生活に必要な習慣や技能を身に付けたり、知識を習得したりできるように、具体的な活動や体験を重視した編成とした。

(4) 必要感・必然性のある設定とすること

学校において必要なこと（学校生活上の基礎と基本）を児童が重要であると考える授業が展開できるように、必要感・必然性のある学びや活動となるように編成した。特に、「がっこうたんけん」については、学校のことを知りたいと思っている子どもたちにとっては、大変有効であるため、5回設定した。ただし、「がっこうたんけん」の振り返りは、スタートカリキュラム終了後に行う。

6 スタートカリキュラム「みんな なかよし いちねんせい」の実施方法

(1) 学校全体の取組とすること

スタートカリキュラムは、小・中学校9年間の義務教育の入り口を支える大切なカリキュラムである。学校全体で意義を共有して、教職員全体での取組とする。

(2) 保護者への適切な説明を行うこと

スタートカリキュラムの目標やその概要を、入学説明会、おたより等を通して家庭に説明し、理解を得ることが望ましい。

(3) 幼児期の教育との違いを理解し、指導に当たること

そもそも幼児期の教育と児童期の教育とは、教育内容や教育方法が違う。この違いをしっかりと理解した上で、指導に当たりたい。

また、「10の姿」がスタート期において安心して発揮できるように「ゼロからのスタートではない」という意識をもって指導に当たりたい。なお、一覧表や本文には、「10の姿」を（イ）から（ヌ）までの記号で関連付けているので、意識されたい。

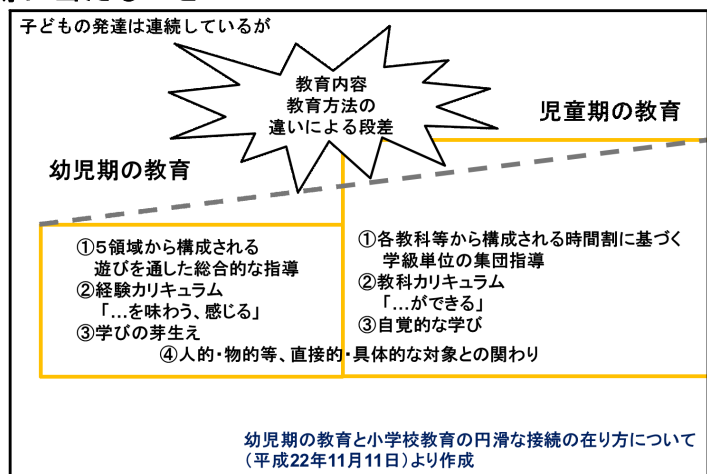
子どもたちの自立し、生活を豊かにしていく姿を想定して実施したい。

(4) 柔軟に実施すること

目の前の子どもの姿を柔軟に捉えて、実施することが大切である。計画どおりにスタートカリキュラムをこなすことが目的ではないことを肝に銘じたい。

(5) 学習環境を工夫すること

幼児期の教育は「環境を通して行う教育」を基本としている。児童が安心感をもち、自分の力で学校生活を送ることができるように学習環境を工夫することに留意した。児童の実態を踏まえること、人間関係が豊かに広がること、学習のきっかけが生まれることなどの視点で、児童を取り巻く学習環境を工夫したい。



7 「みんな なかよし いちねんせい」における各教科等の学習内容と時間計上（計69時間）及び生活科、「10の姿」との関連

各教科等	学習内容（単元名・教材名・学習分野）		時間	「10の姿」との関連
生 活 15	はじまるよ しょうがっこう	なかよく なりたいね じぶんで できるよ みんなで あそぼう どんな ことを するのかな あんぜんな いきかえり いき かえりの やくそく	4	(リ) (ホ) (ロ) (リ) (ハ) (ロ) (ホ) (リ) (ハ) (ニ) (リ) (ロ) (ニ)

生活 15	あそびに いこうよ がっこう たんけん	みつけた はるで あそぼう みんなで いって みよう もっと みつきたいな みつけたよ おはなしを きかせて ください	3 2 2 2 2	(ト) (ヘ) (ヌ) (リ) (ト) (ホ) (リ) (ハ) (ト) (ホ) (リ) (ハ) (ト) (ホ) (リ) (ハ) (ホ)
国 語 14	はるが きた さあ はじめよう	おはなし ききたいな なんて いおうかな かく こと たのしいな どうぞ よろしく こんな もの みつけたよ うたに あわせて あいうえお	2 2 2 1 3 2 2	(リ) (ハ) (リ) (ハ) (リ) (ハ) (ヘ) (チ) (リ) (ロ) (ヘ) (チ) (ハ) (ヌ) (チ) (リ)
書 写 2	はじめの がくしゅう	みつけて みよう かいて みよう じを かく しせい／えんぴつの もちか た／たのしく かこう	1 1	(チ) (ハ) (ロ) (ヘ) (チ)
数 6	かずと すうじ	オリエンテーション 5までの かず	3 3	(ヘ) (チ) (ハ) (ロ) (チ) (ヘ)
音 楽 6	どんな うたが ある かな	ちょうちょう／こどりのうた／ちゅうりっ ぷ／やぎさんゆうびん／おつかいありさん ／こいのぼり／めだかのがっこう／かえる のがっしょう／ばすごっこ／いぬのおまわ りさん	1	(イ) (ハ) (ヌ)
	おんがくに あわせて からだを うごかそう	サンダーバード/ピンク・パンサーのテー マ/どうけしのギャロップ/なみをこえて/ ぞう	1	(イ) (ハ) (ヌ)
	おんがくに あわせて	ゴー アンド ストップ	1	(イ) (ハ) (ヌ)
	うたに あわせて かもつれっしやに なって あそぼう	かもつれっしや	1	(イ) (ハ) (ヌ)
	うたに あわせて おはなに なって あそぼう・わらべうた で あそぼう うたに あわせて みぶりで あそぼう	ひらいた ひらいた/おちゃらか/なべ な べ かたつむり	1 1	(イ) (ハ) (ヌ) (イ) (ハ) (ヌ)
体 育 5	オリエンテーション 器械・器具を使つての運動遊び(固定施設) ゲーム(鬼遊び) 体づくり運動(体ほぐし)		1 1 2 1	(イ) (ヘ) (ロ) (イ) (ニ) (イ) (ヘ) (イ) (ハ)
図 工 4	ずこうの スタート どんどん かくのほ たのしいな ざいりょうと ようぐの ひきだし		1 2 1	(ヌ) (ヘ) (ロ) (ヌ) (ヘ) (ヌ) (ヘ)
	がっこう だいすき あいさつの ことば きもちの よい せいかつ		1 1 1	(ロ) (ホ) (ロ) (ホ) (イ) (ニ) (ロ)
	にゅうがくしきに さんか しょう(入学式後) ぼくも わたしも 1 ねんせい	机・ロッカーの使い方、朝の用意／トイレ の使い方／帰りの支度／下校の仕方／学習 の準備／靴箱、手洗い場の使い方／雨の日 の用意／朝の会・帰りの会／雨の日の下校	2 3.5	(ハ) (イ) (ロ) (ハ) (ニ)
学 級 活 動 8	おいしい きゅうしょく そうじの しかたを おぼえよう		1.5 1	(イ) (ハ) (イ) (ハ) (ロ)
総合 活 動 1	1 ねんせいを むかえるかいに さんかしよう		1	(ハ) (ホ)
学 校 行 事 5	にゅうがくしきに さんかしよう(入学式)		1	(ホ)
	しぎょうしきに さんかしよう		1	(ホ)
	とうげこうの しかたを おぼえよう		1	(ホ) (ニ)
	ほけんしつに いって しんたいそくていを しょう		1	(イ) (ニ)
	ひなん くんれんの しかたを しょう		1	(イ)